

2024年7月11日

関係各位

会社名：三井物産株式会社
代表者名：代表取締役社長 堀 健一
(コード番号：8031)
本社所在地：東京都千代田区大手町
一丁目2番1号

UAE・ルwis LNG プロジェクトの最終投資決断の実行

三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 健一、以下「当社」）は、事業パートナー（以下「プロジェクト出資者」）と共に、アブダビ国営石油会社（以下「ADNOC」）がアラブ首長国連邦ルwis工業都市で推進するルwis LNG プロジェクト（以下「本プロジェクト」）の最終投資決断を行ったことを本日お知らせします。なお、当社は在オランダの100%子会社 MBK Investment Management Netherlands B.V.（以下「MIM」）を通じ出資参画する予定です。

本プロジェクトは、年間960万トンの生産能力を持ち生産開始時期は2028年を予定している中流液化事業となります。総開発費を主に構成するLNGプラント建設のEPC契約価格は約55億米ドル（約0.9兆円）*1、MIM持分で約5.5億米ドル（約880億円）*1を予定しています。

1970年代のADNOC LNGプロジェクトへの参画を皮切りに、当社はグローバルにLNG事業を推進して参りましたが、ADNOCとの約50年に及ぶ良好な関係を通じ、事業パートナーに選定されると共に、LNG引取りに基本合意しました。当社は、中期経営計画2026においてGlobal Energy Transitionを攻め筋の一つとして定め、天然ガス・LNGを重要な役割を担う現実解として位置づけています。本プロジェクトは、長期的な安定収益基盤を担うことに加え、クリーン電力を活用予定のE-Drive設計*2による生産時のGHG排出の対応策を備えた低炭素LNG事業でもあり、持続可能な形で脱炭素社会への移行に寄与する取組みとなります。当社は、今後もグローバルな天然ガス・LNG事業の推進を通じ、エネルギーの安定供給、人々の豊かな暮らしや社会の持続的発展に貢献していきます。

なお、本件による2025年3月期連結業績への影響は軽微です。

*1 生産開始までに発生するCAPEX（設備投資額）。

*2 原料ガスを圧縮するコンプレッサーの駆動に従来のガスタービンではなく電動モーターを採用する設計。

【プロジェクト出資者概要】

会社名	出資比率
Abu Dhabi National Oil Company (ADNOC)	60%
MBK Investment Management Netherlands B.V. (MIM)	10%
bp 子会社	10%
Shell 子会社	10%
TotalEnergies 子会社	10%

本件に関する問合せ先: 三井物産(株)

IR 部 TEL: 03-3285-7657

広報部 TEL: 080-5912-0321

ご注意:

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。